

講義科目名（コース名）	科学と社会
名前	松井 吉光

### 【教材の目的と概要】

愛知大学 LMS（以下、Moodle と記す）上に「科学と社会」コースを開設した。このコースは、車道校舎における授業用に開設したもので、目的は授業で使用するプレゼンテーション資料の配布と、小レポートおよび自主レポートの回収であった。

### 【授業における活用方法】

「科学と社会」はパワーポイントを用いて資料提示しながら、授業を進めていく形式を採った。そのため学生の理解の助けとなるよう、プレゼンテーション資料を配付する必要を感じたが、就職活動等で欠席が多くなる三年生以上が対象であるため印刷する部数を事前に把握するのが難しいのと、欠席した学生に後から配布する必要が生じるという問題があった。そのため、授業当日学生が各自印刷して持ってくるができるよう前日までに Moodle 上に掲載するとともに、授業後はいつでも参照できるようにした。

小レポートは Moodle 上に Word で作成したフォーマットを用意し、各自ダウンロードして利用する形式を採った。提出後の処理のためには XML に準拠した docx 形式（Word2007 以降）に統一できることが望ましかったが、学生からの要望があったため doc 形式（Word2003 以前）も用意すること

にした。提出されたファイルは VB スクリプトを用いてすべて docx 形式に変換し、さらに Python スクリプトを使ってすべて 1 つのファイル(csv 形式)にまとめた。受講生が約 200 名程度であったため、提出された時点の個々の Word ファイルを採点するのに対して、非常に効率よく採点できたことと、学生の意見の比較を行うのが非常に楽になった。

自主レポートについては、いつでも、何度でも提出が可能となるようにするため、Moodle のファイルの「高度なアップロード機能」を利用した。

### 【授業で使った感想】

学生に資料を提示するため、授業の準備を授業前日以前に終わらせなければいけないというプレッシャーがきつかったが、学生が授業にきちんと印刷して持ってきてくれている姿を見て報われた思いがした。教育効果をどのように上げていくのかは今後の課題であるが、学生が履修する上での利便性の向上という意味では Moodle は非常に有用なツールだと思う。